



①ランナーが一斉にスタート。②太鼓の演奏でランナーを鼓舞。③ランナーとハイタッチ。④世界かんがい施設遺産「拾ヶ堰」沿いを爽快ラン。⑤フィニッシュ前ラストスパート。⑥完走したランナーにボランティアの皆さんが冷たいドリンクを手渡す。



第4回 信州安曇野ハーフマラソン

5,927人が
安曇野を疾走

第4回信州安曇野ハーフマラソン（市、市商工会など実行委員会主催・信濃毎日新聞社共催）が6月3日、豊科南部総合公園を発着点として行われました。大会には、ハーフの部 5,225 人、ファミリーの部 323 組・702 人が出場。ランナーは強い日差しの中、雪解けの進む北アルプスを背景に、のどかな田園風景や街並みの中を駆け抜けました。沿道から大勢の市民の皆さんが小旗を振って応援し、運営ボランティアとして約 600 人の皆さんが大会を支えました。



男子優勝
牛山さん

女子優勝
小田切さん

ファミリー優勝
上條さん親子

大会結果

順位	ハーフマラソン		ファミリーラン
	男子	女子	
1	牛山純一(茅野市)	小田切亜希(長野市)	上條充洋・遥(東京都)
2	松本 翔(東京都)	三井由香里(山梨県)	岸本俊朗・莞爾(長野市)
3	柳澤瑞樹(中野市)	小林美香(長野市)	平林俊博・凌(池田町)
4	松野淳司(塩尻市)	上原千貴(埼玉県)	野口 渉・輝(安曇野市)
5	寺島慧悟(安曇野市)	表 知史(松本市)	富永浩一・陽介(松本市)
6	鳥羽大地(長野市)	松澤加奈子(小谷村)	三井正勝・優哉(安曇野市)
7	藤田圭太(東京都)	高田友紀子(静岡県)	中澤史郎・侑己(安曇野市)
8	割田雄磨(長野市)	福沢久美子(駒ヶ根市)	田中新一・秀磨(飯山市)

有森裕子 スポーツ大使就任



市は6月3日、元女子マラソン選手で五輪メダリストの有森裕子さんに「安曇野市スポーツ大使」を委嘱しました。有森さんは、信州安曇野ハーフマラソンの第1回大会からゲストを務め、安曇野を疾走するランナーを応援していただいています。今後はスポーツ大使として、市のスポーツ推進や市民の健康増進などにご協力いただきます。

生涯学習課スポーツ推進担当 TEL71・2467 FAX71・2338

スポーツを通じて 安曇野市民を元気に

—安曇野市はどんな印象ですか。

自然豊かで、山に囲まれた風景が印象的です。毎年迎えてくれる常念岳など北アルプスの眺望は何度見ても感動します。

—信州安曇野ハーフマラソンで印象に残っていることを教えてください。

途切れることなく市民の皆さんが沿道で応援している姿が印象深いです。また、回数を重ねるごとに市民の皆さんが大会を盛り上げようと、工夫を凝らした応援や催しをされていて、毎年楽しみにしています。

—スポーツ大使としての抱負を教えてください。

信州安曇野ハーフマラソンに第1回からゲストとして参加させていただき、この大会に出会えたことに強い縁を感じています。市民の皆さんに安曇野の魅力を教えていただきながら、生活に根付く、健康増進の方法などを模索していきたいです。スポーツを通じて市民の皆さんに元気になってもらえるよう光栄な役割を果たしていきたいです。



安曇野市スポーツ大使 有森裕子さん

1966 年岡山県生まれ。バルセロナ五輪女子マラソン銀メダル、アトランタ五輪女子マラソン銅メダル。NPO「ハート・オブ・ゴールド」代表理事ほか。平成 30 年 6 月 3 日、安曇野市スポーツ大使に就任。

スポーツ振興で 心豊かな地域づくりを

信州安曇野ハーフマラソンの第1回大会からゲストとして参加いただいている、有森裕子さんを「安曇野市スポーツ大使」に委嘱させていただきました。

今後は、信州安曇野ハーフマラソンのゲストはもとより、スポーツ教室や講演会でのご指導など、市のスポーツ推進事業、スポーツ施策に対しても助言やご協力をいただきます。また、有森さんがご活躍されるさまざまな場面で、市の魅力発信にもご協力いただけることになりました。

市では、競技スポーツの振興とともに市民の皆さまの健康づくりを一層推進し、生涯を通じて質の高いスポーツに取り組める環境の整備や心の豊かさをはぐくむ地域づくりを推進してまいります。



安曇野市長 宮澤宗弘